

# 遠野市公共施設等総合管理計画 <概要版>

## 現状と課題 ・ ・ 公共施設マネジメントの必要性

### ○ 増え続けた施設と莫大な更新費用

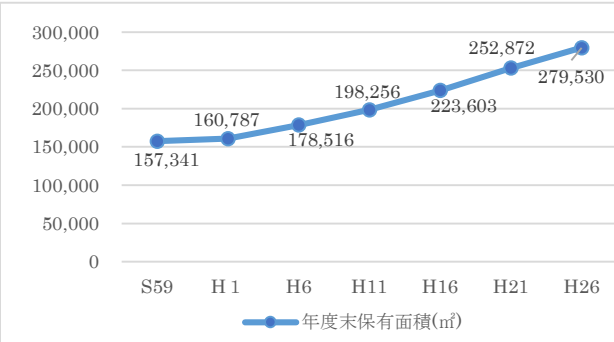
#### 【 市の保有する主な施設 】

- ・施設数 建物 358 箇所・1,072 棟
- ・建物の総床面積 279,529.71 m<sup>2</sup>
- ・一人あたり面積 10.16 m<sup>2</sup>(全国平均の1.94倍)
- ・ **\* 4割を超える建物が整備後30年以上経過**
- ・道路延長 1,596km ・上下水道延長 728km

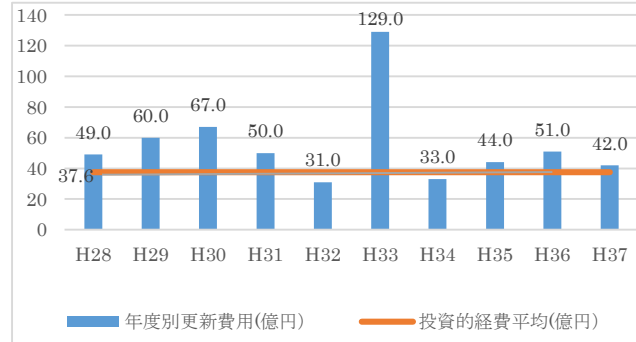
#### 【 莫大な更新費用 】

- ・総ての建物を更新する場合 1,027 億円必要
- ・計画期間 (H28~H37) に限定すると  
既耐用年数経過分 239 億円  
H28~H37 耐用年数到来分 317 億円  
**毎年の負担額 56 億円 > 投資的経費平均 38 億円**

#### 【 建物保有面積の推移 】



#### 【 年度別更新費用見込み 】

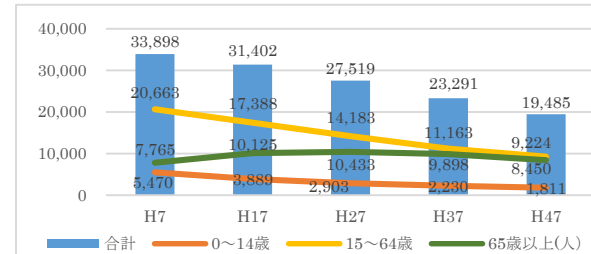


### ○ 人口減少による利用需要の変化

#### 【 総ての年代が減少の見込み 】

- ・年少人口 10年後 23.2%減、20年後 37.6%減
- ・生産年齢人口 " 21.3%減、20年後 35.0%減
- ・高齢人口 " 5.1%減、20年後 19.0%減
- **総ての年代の人口減少 = 施設の利用需要減**

#### 【 年代別人口の見通し 】

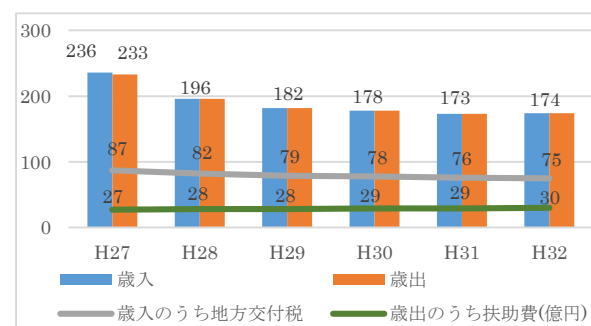


### ○ 増加する行政コストと不足する財源

#### 【 地方交付税の減と扶助費の増 】

- ・歳入：地方交付税 5年後 13.4%減
- ・歳出：義務的経費（人件費・扶助費・公債費）  
5年後 1.9%減  
うち扶助費 " 9.5%増
- 財政の硬直化 → 遠野ならではの政策実現が困難に**

#### 【 歳入歳出の見込み 】



## 遠野市公共施設等総合管理計画

公共施設を取り巻く未来を安心・安全なものとし、より良い行政サービスを持続するために

- ◇ 計画期間：平成28年度から平成37年度までの10年間
- ◇ 対象とする公共施設：市保有の建物施設(282箇所、981棟)及び都市基盤施設  
\*一部建物(延床面積50m<sup>2</sup>未満の施設、壁のない建築物(7-ケド・単独の四阿)、単独の倉庫等)を除く。

### ○ 施設整備更新に関する3つの柱

- ◇ **永く親しまれる施設づくり** ・ ・ 適正な維持管理、計画的な改修及び長寿命化
- ◇ **今あるものを賢く使う** ・ ・ 利用需要を見据えた複合化、集約化及び機能転換
- ◇ **市民と財政に優しい施設づくり** ・ ・ ユニバーサルデザイン及び維持管理コストをふまえた検討

### ○ 施設の維持管理に関する7つの方針

#### 【 点検・診断等 】

適切な法定点検・定期点検・日常点検の実施及びデータに基づく予防保全

#### 【 維持・修繕・更新 】

ユニバーサルデザイン化、維持管理コスト削減等を視野に入れた、安全な施設づくり

#### 【 安全確保 】

危険施設の保全措置または供用廃止措置及び計画的な除却処分

#### 【 耐震化点検・診断等 】

平常時・災害時等、総合的な視点からの優先順位付けによる耐震化

#### 【 長寿命化 】

公共施設ロングライフ事業の活用と計画的な予防修繕による施設の長寿命化

#### 【 統合・廃止 】

施設の複合化・用途廃止の検討及び遊休施設の賃貸・売却

#### 【 管理体制の構築 】

- ・公有財産管理システムによる施設・修繕履歴等、情報の蓄積と共有
- 計画的な予防保全措置  
新地方公会計との連動による維持管理コスト評価及び経費削減策推進

### ○ 計画推進スケジュール

#### 平成28年度～

- ・計画のブラッシュアップ
- ・施設類型別計画策定

#### 平成29年度～

- ・計画に基づく除却・長寿命化等

#### 平成30年度～

- ・計画進捗状況の評価・公表